

時宗遊行上人ご親教、無事満行



梅雨の時期にもかかわらず晴天に恵まれた時宗遊行上人ご親教は、満員の本堂で厳粛に勤修され、出席者の皆様と共に無事満行することができました。またご出席できなかった方々のご先祖様のご回向も、法主猊下のお念仏のもと丁重にお供養していただきました。あらためて檀信徒の皆様には、これまで多大なるご協力をいただき感謝申し上げます。

上写真は、この日得度（仏門に入る宣誓のこと）をした私の娘二人に、お言葉をお授け下さる遊行他阿真円上人です。現在の法主猊下である他阿真円上人は、御年 94 才になりますが、当寺院の本堂に続く階段を難なく昇られ、このご親教のために設置したマイクなどまったく必要がないような大きなお声で、私の娘たちだけでなく、出席された檀信徒の皆様にも温かく語りかけ、またご本堂を立派に再建したことを祝っていただけました。

また一遍上人より約 730 年続く「ご賦算（ふさん）」・「踊り念仏」も、ほとんどの方が初めて体験するものであったと思います。皆様それぞれ感じられたことがあったと思いますが、ご参詣できなかった方々も含め、我々の本堂でお上人様と同じ空間を共有しご回向できたことは、私にとっても本当に感極まるものでした。これまでのご協力、本当にありがとうございました。

合掌

お釈迦様の微笑みをもとめて

(第1話)



住職が今年の2月に訪れたお釈迦様の聖地の数々を、紙面が空いた際にご案内させていただきます。

今回は、お釈迦様生誕の地『ルンビニ』です。

左写真は、その聖地に建つお堂で、この中に生誕地の遺跡とレリーフがあります。写真からもお分かりのように、このお堂

はそんなに古い建物ではないばかりか、このルンビニという場所自体が発見されたのも、明治29年とそんなに昔のことではありません。

この場所で、母親であるマヤ夫人の右脇からお生まれになったお釈迦様は、すぐに7歩すすみ「天上天下唯我独尊」とおっしゃられます。現在日本では4月8日をお釈迦様生誕の日とし、甘茶などを振る舞いお祝い致します。なお、お堂の左上にネパールの国旗が見えるように、ここはインドではありません。また日本から直接この地へ行くには、インドから陸路で向かうより、近くにあるネパール・カトマンズ空港から直接行かれたほうが経済的にも体力的にも便利だそうです。ちなみに私はインドより国境越えの陸路でしたので、それはそれはもう大変でした・・・(涙)

〔編集後記〕

今年は、私にとって例年以上に月日の流れが早く感じられます。2月にはインド研修、そして6月にはご親教と矢継ぎ早に大きな行事が過ぎ去っていきました。行事ごとというものは、準備段階やその期間中は多忙で早く終わって欲しいと思ってしまうのですが、いざ終わってみると達成感と共に、なにか物悲しさをも感じます。しかし久しぶりにお会い出来る方々の笑顔を楽しみに、今年もお盆参りさせていただきたいと思っております。時間厳守を目指しますが、交通事情等で遅れるかもしれません。ご容赦のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

合掌

訂正] 前回31号の年間行事予定が『平成24年』になっていましたが、正確には『25年』です。訂正してお詫び申し上げます。

発行；[時宗 慈光山 普照院]

責任者 小田義宗

☎652-0853 神戸市兵庫区今出在家町4-1-29

電話・ファックス 078 - 671 - 1787

ホームページ <http://fusyojin.com/>



ぜひ、お寺のホームページもご覧ください。

特に次世代をになう、若い方々・お子様たちにも教えてあげてください。